

## 出席停止感染症一覧表 (ひじり学園)

下記の感染症にかかる場合は出席停止です。完治後、登園時に様式1又は2の届け出用紙を提出していただく必要があります

第一種	エボラ出血熱 クリミア コンゴ出血熱 ベスト マールブルグ病 ラッサ熱 急性灰白髄炎 ジフテリア その他			原則入院治癒するまで出席停止			届け出様式	
							様式1	
病名	主な症状	感染経路	潜伏期	感染期間	出席停止期間	届け出様式	備考	
第二種	インフルエンザ	高熱(39~40°C) 関節や筋肉の痛み 全身倦怠感 咳・鼻水・のどの痛み	接触 飛沫	1~4日	発症後3~4日	発症後5日を経過し かつ解熱してから 3日を経過するまで	様式2	肺炎や脳炎などの合併症に 注意。発熱や意識の様子に 気をつける
	新型コロナウイルス 感染症	発熱・咳・鼻水・のどの痛み・倦怠感・頭痛 味覚障害・嗅覚障害	飛沫 接触 エアゾル	1~7日	発症の2日前~ 発症後7日~ 10日間	発症後5日間 無症状の場合は 検体採取日から数える	様式2	濃厚接触者特定無し
	百日咳	コンコンという短く 激しい咳が続く	飛沫 接触	7~10日	1~4週	持続的の咳が消えるまで、ま たは5日間の適正な抗菌 性物質製剤による治療終 了まで	様式1	3歳以下の乳幼児は肺炎を 合併することがある
	麻疹(はしか)	発熱・鼻汁・目やに・発疹 くしゃみ	飛沫 接触	11~12日	発疹が出現する前 5日~出た後3~4日	解熱してから3日を経過す るまで	様式1	
	結核	初期*無症状 発熱・咳・倦怠感・呼吸症状など	空気	6か月~ 2年以内	喀痰検査陽性の間	3日連続喀痰検査又は、 空腹時の胃液の塗抹検査 が陰性となるまで	様式1	
	髄膜炎菌性髄膜炎	発熱・頭痛・意識障害 発症	飛沫	4日以内	有効な治療開始後24時間を経過するまで隔離が必要 症状により、医師において感染のおそれがないと認めるまで			様式1
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発熱 耳の前下部の腫れと痛み (押すと痛む)	飛沫 接触	16~18日	耳下腺の腫れる前 7日~腫れた後9日間	耳下腺、頸下腺または舌 下腺の腫れが出現後5日 を経過し、かつ全身状態 が良好になるまで	様式2	
	風疹(三日はしか)	38°C前後の発熱 発疹 リンパ節の腫れ	飛沫 接触 胎内感染	16~18日	発疹が出現する前7日~ 出た後7日間	発疹が消えるまで	様式2	
	水痘(水ぼうそう)	発疹→水泡→かさぶた 軽い発疹	空気 飛沫 接触 胎内感染	14~18日	発疹が出現する前1日~ すべての発疹がかさ ぶたになるまで	すべての発疹がかさぶた になるまで	様式2	
第三種	咽頭結膜熱(ブルー熱) アデノウイルス	38°C~40°Cの発熱 のどの痛み・目やに 結膜の充血	飛沫 接触	2~14日	発病してから 2~4週間	主要症状が消えてから 2日を経過するまで (医師の判断)	様式2	医師の許可があるまでブル ーには入らない
	コレラ 細菌性赤痢	腸チフス パラチフス 腸管出血性大腸菌感染症(O-157)	医師において伝染の恐れがないと認めるまで静養				様式1	
	流行性角結膜炎 (はやり目)	目の異物感 充血 まぶたの腫れ 目やに 瞳孔に点状の濁り	飛沫 接触	2~14日	ブルー熱同様		様式1	医師の許可があるまでブル ーには入らない
	急性出血性結膜炎 (アポロ病)	目の激しい痛み 結膜が赤くなる 異物感、涙が出る	接触	1~3日	発症してから 5~7日		様式1	
	ヘルパンギーナ	高熱(38°C~39°C) 咽頭発赤・のどの奥に 白い小さな水泡疹	飛沫 経口 接触	3~6日	主な症状が 治るまで		様式2	
	溶連菌感染症	発熱(39°C前後)発疹 扁桃発赤・腫脹・咽頭痛 ・いちご舌など	飛沫	2~5日	解熱後、一日経過 し、主な症状が消 失するまで		様式2	抗生素を正しく 服用しましょう
	異型肺炎 (マイコプラズマ)	発熱・乾性の激しい咳が続く 咽頭炎 胸部レントゲン陰影	飛沫	14~21日	症状がある時が ピーク		様式2	高熱後、長い咳に注意
	伝染性紅斑 (リンゴ病)	両頬に少し盛り上がった じんましんのような発疹・ 発熱	飛沫	4~14日	症状出現後は 感染力が弱い		様式2	
	手足口病	軽い発熱(2~3日) 小さな水泡が口の中や手足 にできる	飛沫 経口 接触	3~6日	喉から1~2週間 便から3~4週間		様式2	食事困難な場合には 静養しましょう
その他	伝染性膿瘍疹 (とびひ)	からだに水泡ができる 一破裂で膿が出る・かゆみ	接触(水泡 の分泌物)	2~5日	水泡から膿の 出る間		様式2	
	感染性胃腸炎 (流行性嘔吐下痢症)	吐気・嘔吐・下痢・腹痛・発熱	飛沫 経口 接触	1~2日	主な症状が回復す るまで		様式2	主な原因はノロ・ロタウイルス 小型球形ウイルス(SRSV) アデノウイルスなど 汚物処理、要注意
	RSウイルス 感染症	発熱・咳・鼻水など風邪症状・ 喘鳴	接触 飛沫	4~6日	3~8日		様式2	咳、呼吸器症状に注意
	ヒトメタニьюーモ ウイルス感染症	発熱・咳・鼻水など呼吸器症 状	接触 飛沫	3~5日	1~2週間		様式2	呼吸器症状に注意
	伝染性軟属腫 (水いぼ)	光沢のある粒上の皮疹 中央がおへそのようにくぼん でいる	接触	皮疹の数が増えたり大きくなっている 又は 潰れて浸出液がある場合には相談			様式2	

※上記の表は、学校保健安全法施行規則に基づく一覧表です。参考にしてください。ただし、症状により異なりますので必ず医療機関にて相談してください。上記以外の感染症で(医師の指導があった場合)届け出が必要なこともあります。受診後は園までご一報お願い致します。